

添付資料：

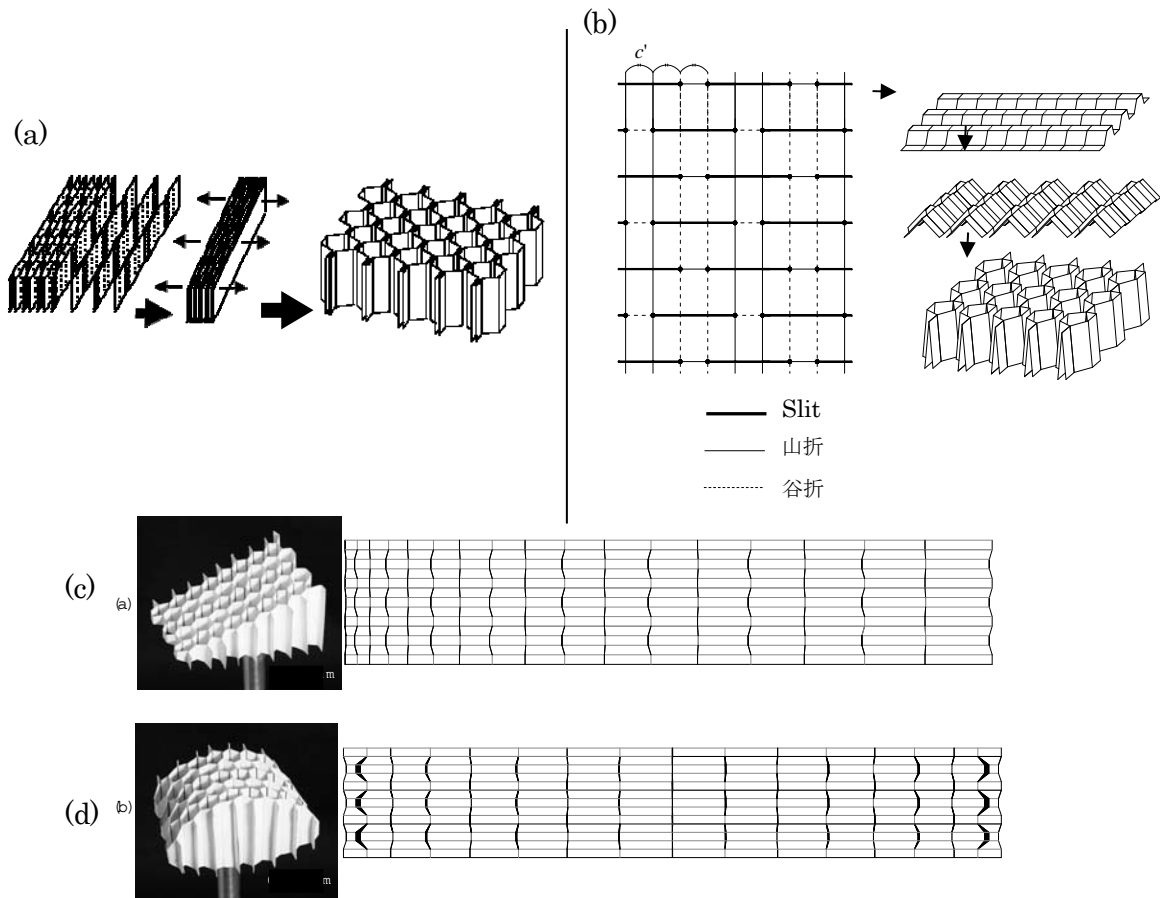


図1 展張式と折紙式。(a)展張式：接着剤を塗布した金属箔を積層し、そのブロックを展張させることでコアを製作する。(b)折紙式：周期的なスリットを入れた1枚の平板を折り曲げることによってハニカムコアを立体化する。スリット、折線のパターンを変えるだけで(c)のテーパ形や、(d)の曲面パネルなど様々な断面形状のパネルを作製できる利点を有する。(c)テーパ形ハニカムコアの紙製サンプル(左)とその展開図(右)。(d)曲面ハニカムコアの紙製サンプル(左)とその展開図(右)。

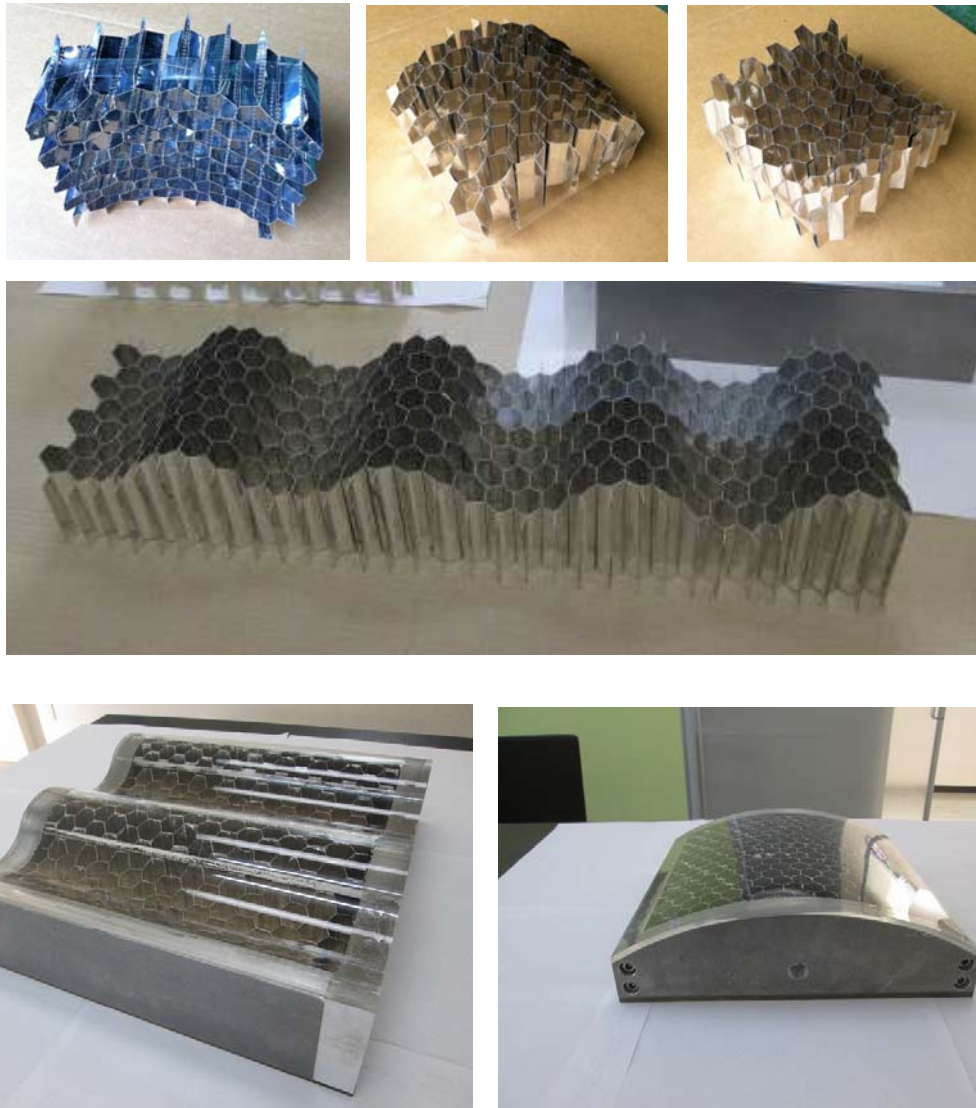


図2 本研究開発で製作された特殊断面アルミハニカムコア。全て一枚のアルミシートから立体化されている。下段のサンプルはコア内部が観察できるようにアクリル表面板を貼りつけている。